



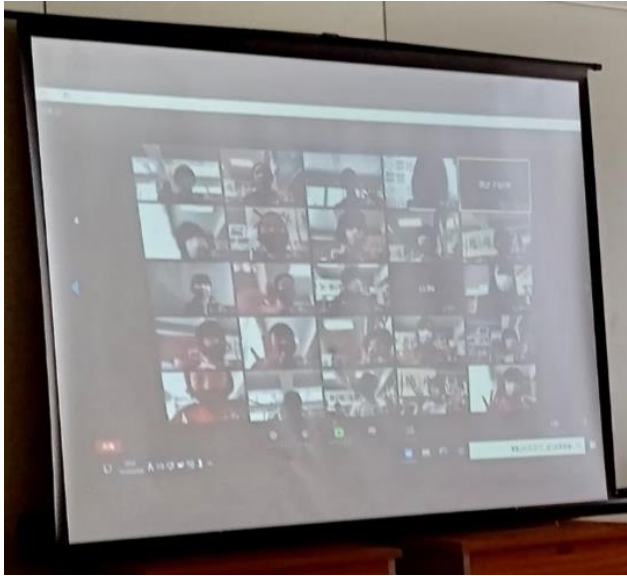
# ゆうばり小6年生から意見多数

## コロナ禍で初の「オンライン子ども議会」

### 「公園にトイシヤ時計を」 「遊び場・運動できる場所を」

2月7日、ゆうばり小学校6年生と夕張市議会の意見交換会が開催されました。例年であれば議場の議員席に6年生が座り、議員活動の一日体験をする機会となっていました。コロナ禍の中で、初のオンラインでの開催となりました。

当日は6年生の一人ひとりが暮らしの中で感じている、疑問や意見などを発表し、市議8人が分担して行政に代わって



答弁していました。くまがい桂子市議はおもに「まちづくり」を担当しました。概要をお知らせします。

#### 【イルミネーション】

●りすたはイルミネーションがあってもよいと思う。苦小牧では冬にイルミネーションをやっている。夜、見に来る人がたくさんいる。少しでも楽しい、明るいものがあってもいいのでは。

▼夕張でも、教育委員会の社会教育の行事として、数日間行っています。

また、りすたでは「こんなことをしてみたい」という意見・要望を募集している。ぜひ伝えてみてはどうでしょうか。

#### 【交通を便利に】

●りすたに、本町や

登川の人が行けるように、シャトルバスや無料バスがあったらよいと思う。(複数)

▼夕張のようにバスの利用者が少ない町では、費用がかかりすぎて残念ながら困難です。

現在、本町からりすたまでは、1日10往復のバスがありま

す。また、登川はスクールバスの混乗便と、紅葉山までのタクシーを300円で利用できる制度があります。残念ながら、現実の問題点としてタクシーが不足しています。これは地方の皆さんの町が抱えている共通の悩みです。

限られた予算の中でどうしたらいいのか、これからもみんな考えていかなければならない問題と

なっています。

【バス停を】

●中学校前にバス停が欲しい。(坂を上るのが大変だから)

▼バスは「公共交通」といって、なるべく多くの人が便利に利用することを目的に考えます。小学生はまだ低い低学年の子たちもいるので、安全に乗り降りができるように、学校の敷地の中までバスが入っています。中学生はもう自分で交通手段が安全につけることが出来ますよ。

【子どもの遊び場を】

●りすたに、子どもが使えるような卓球やバドミントンができる場所をつくってほしい。子どもの遊び

場も。(複数)

▼現在りすたでは幼児の遊び場はできていて、これから外の花壇なども整備がすすむ予定です。

ただ、りすたの広さも限りがあるので、「現状でも卓球やバドミントンは文化スポーツセンターに行けばできることから、子どもたちが市内を移動するための、交通体制の見直しも含めて総合的に考えていきたい」ということです。

【バスで全員座れる】

●みんなが座れないので朝のバスを赤バスに統一してほしい。座れないと、雪でバスの中が濡れて転ぶなど危険です。

▼これについては、役所の方で何度も調査をしています。確かに座れない人がいる場合もありますが、多くの日は「みんなが座れている」ところを確認しているところ。もし、座れない人がいる日には、みんなで譲り合うなどして、なるべく安全に移動できるように是非、



● 通学路の除雪を早くしてほしい(複数)  
 ● 街灯が少なく、冬は真っ暗で見えないので増やしてほしい。(複数)  
 ● 学校にエアコンを(複数)  
 ● 人口を増やすために、楽しいこと・楽しいものを増やして  
 ● 公園にトイレや時計をつけてほしい。(複数)  
 ● 公園や遊べるところを増やしほしい。(複数)  
 ● 遊ぶ施設や運動できる場所を増やしてほしい。(複数)  
 ● 空き家をなくして  
 ● 空き家のリフォームや、活用を。(複数)  
 ● 夕張ならではの菓子屋を。  
 ● ドッグランが欲しい。(複数)  
 ● 高齢者が多いので福祉や看護の専門学校をつくつたらいい。  
 ● ご当地アイドルをつくってほしい。  
 ● 清水沢のセイコーマートに信号を。  
 ● メロロドの信号が見づらい。  
 ● 公園に自販機を。  
 ● 農業の専門学校を  
 ● 暗くても野球の練習ができる環境を。

【大型店舗・飲食店】  
 ● ショッピングモールや、マックやミスド・ジャンクフードの店が欲しい。  
 ▼ (税金でつくるもの、民間が営利目的でつくるものの違いを説明しました。)  
 ※その他、次のような質問や意見が出されてきました。

【借金】  
 ● 借金はどのくらいですか。  
 ● 1か月にどれくらい借金を返しているんですか。

【通学・学校・他】  
 ● 通学路の除雪を早くしてほしい(複数)  
 ● 街灯が少なく、冬は真っ暗で見えないので増やしてほしい。(複数)  
 ● 学校にエアコンを(複数)  
 ● 人口を増やすために、楽しいこと・楽しいものを増やして  
 ● 公園にトイレや時計をつけてほしい。(複数)  
 ● 公園や遊べるところを増やしほしい。(複数)  
 ● 遊ぶ施設や運動できる場所を増やしてほしい。(複数)  
 ● 空き家をなくして  
 ● 空き家のリフォームや、活用を。(複数)  
 ● 夕張ならではの菓子屋を。  
 ● ドッグランが欲しい。(複数)  
 ● 高齢者が多いので福祉や看護の専門学校をつくつたらいい。  
 ● ご当地アイドルをつくってほしい。  
 ● 清水沢のセイコーマートに信号を。  
 ● メロロドの信号が見づらい。  
 ● 公園に自販機を。  
 ● 農業の専門学校を  
 ● 暗くても野球の練習ができる環境を。

## くずさんの 夕張歴史散歩(173)

### 石炭博物館模擬坑の火災(番外編⑧) 石炭の輸送と夕張線の廃止

掘り出された石炭は、鉄道で運搬されたのです。明治に始まる開拓以来、北海道の開拓は石炭の採掘と鉄道から始まったと言って過言ではありません。

三笠市の幌内炭鉱と共に、その典型であった夕張炭鉱も、鉄道の突貫工事によって成り立ったのです。夕張と追分間の夕張線についてのいきさつは、この「夕張歴史散歩」96(明治維新「幌基」と北炭⑦13)で書きましました。

かつて追分には、レンガ造りの北炭のマークの付いた扇形の車庫と転車台がありました。岩見沢には、同じく北炭のマーク入りのレールセンターが現存します。

夕張の歴史と共にあった夕張線は、1892(明治25)年11月1日、北炭夕張の開業とともに開通、2016年8月、時の夕張市長鈴木直道氏(現北海道知事)が自らJR北海道に対し廃止を逆提案します。

2019年3月あえなく最終列車は夕張駅を離れ、127年の歴史を閉じたのです。

### 夕張駅の変遷

夕張駅は三度、その場所を変えています。最終列車が発ったのは、ホテルレイスイの目の前に風見鳥風の駅舎(現存)。その前は旧市民会館裏に客車を改造したプレハブ風、そして最初の夕張駅は、北炭夕張支社のあった住初、現夕張神社の前にありました。このたびたびの移転にはそれぞれの因縁がありました。



岩淵 友「国会かけある記」  
参議院議員  
岩淵 友

### 事業者支援金の増額拡充を

昨年末から続く豪雪被害について、紙智子参院議員とともに、また党国会議員団として、現場の実態を示しながら「一刻も早い対応を」と政府に求めてきました。国土交通省が、10日、地方公共団体に道路除雪費支援の検討に必要な聞き取りを開始すると発表しました。結果を踏まえて、3月を目途に予算の追加配分を行うこととしています。ようやく動き出しました。しかし、実態は深刻、引き続き対策を求めていきたいと思えます。

オミクロン株感染の急拡大のなかで、相談が相次いでいます。1月31日から申請がはじまった「事業復活支援金」。「申請したが不備があったと返事があった。一定期間のうちに不備を解消しなければ申請を却下する」とあるが、一定期間の「期間」が分からない。確認すると「事務局が立ち上がったばかり」とその場での回答はありませんでした。後日、回答がありましたが、これまでと同じようにコールセンターでは対応できない状況が今も続いています。そもそも、支援金額が不十分だった持続化給付金と比べて、多くの方が半額という中身です。「先をみずえてがんばってきたけど、その先がいつまでたっても見えない」という声が事業者の方から寄せられました。対応の改善と、支援金の増額を含めた拡充を実現するとともに、命と暮らしを守る政治に変えるために、参議院選挙で日本共産党を大きくしなければと改めて決意しています。